

## 株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一  
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2025年2月期 (2024/3/1~2025/2/28)		上期							下期					通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7			101.2	101.8
店舗売上	※2	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.5			99.7	100.1
既存店売上	※3	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.3			100.0	100.7
Eコマース売上	※4	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	※5 105.9	※5 102.3	108.0	111.7			107.3	108.2
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279			—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3			57	117
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0			7	78
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48			48	56
既存店対象店舗数	※3	2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,012			—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2024年9月のEコマース売上が105.8%から105.9%へ、2024年10月のEコマース売上が102.1%から102.3%へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況) 休日数(前年差) 当月 △1 前年同月 +1

当月は、国内小売売上が前年同月比102.7%となり、内訳は店舗売上が同100.5%、Eコマース売上が同111.7%となりました。既存店売上は前年同月比100.3%でした。休日数が前年同月より一日減り、約1.6%のマイナス影響と推計しております。  
 当月は例年より寒い日が続く、本格的な冬の到来が防寒ニーズを刺激しました。中旬にかけて急な気温低下を受け、店舗・EC販路を問わず、ハイゲージからミドルゲージまで幅広いニットの稼働に加え、ダウンやウールのコートも高稼働しました。  
 ただ、月後半のプレセールでは、店舗販路の値引き販売が暖冬でも健闘した前年に対して伸び悩んだ反面、EC販路は主要ブランドの顧客限定セールやクリスマスギフトのキャンペーンが奏功してEC売上の久し振りの前年2桁成長に寄与しました。  
 アイテム別では、上述した防寒ニーズに対応したアパレルの活況に加えて、オケージョン(Xmas・忘年会等)で人気のワンピースが浮上したほか、裏起毛やスウェードなど暖かい素材のボトムス、プレゼント需要に支えられた雑貨なども好評でした。  
 ブランド別では客数・客単価両面で好調な「ドレステリア」を筆頭に、「アンタイル」「タケオキクチ」といった百貨店アパレルも良好であり、ジュエリー「ココジュニック」やユーズドセレクト「ラグタグ」はインバウンド効果も支えに2桁増収を継続しました。

## (参考: 前期実績)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.4	102.5	107.5	103.8	105.1	
店舗売上		106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.4	101.1	106.4	103.0	105.1	
既存店売上		109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	104.8	104.7	107.5	105.9	108.3	
Eコマース売上		102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	101.6	106.6	110.8	106.6	105.0	
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	2,184	—	—	
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	10	24	53	
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	20	58	109	
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10	10	16	
既存店対象店舗数		2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	2,062	2,022	1,998	—	—	